

# 2022年 高津区記録会開催要項

Rev2

開催日 2022年5月3日(火祝) 予備日 5月15日(日)  
13:45 競技運営スタッフ集合／打ち合わせ／準備開始  
14:30 競技開始(ベーラン・遠投)  
15:30 ボールまわし開始  
16:00 キャッチボールクラシック開始  
16:30 結果発表

参加資格 ・高津区少年野球連盟に加盟している1年生～6年生

競技方法 ・ベーランと遠投は学年ごとに競技を行う  
・ボールまわしは6年生の部と5年生の部で行う。  
(各チームで複数チームの参加可能。全ての6年生、5年生が参加できるようにしてください。)  
(同一選手が6年生の部と5年生の部の両方に出ることは不可とします。)  
6年の部は6年生4名で行う。人数が足りない場合は、5年生以下も含めた編成が可能。  
5年の部は5年生4名で行う。人数が足りない場合は、4年生以下も含めた編成が可能。  
・キャッチボールクラシックは各チーム1チームのみのエントリーとする。(メンバー登録不要)

## ・競技場所と競技順番

瀬田球場 14:30～遠投

1. 6年生 ①～⑫の順
2. 4年生 ①～⑫の順
3. 2年生 ①～⑫の順

14:30～ベーラン

1. 4年生(本塁から1周) ①～⑫の順
2. 2年生(二塁から本塁) ①～⑫の順
3. 6年生(本塁から1周) ①～⑫の順

15:30～ボールまわし

- 6年生の部 ①～⑫の順  
中等部 ベーラン・ボールまわし  
監督 ボールまわし

16:00～キャッチボールクラシック ①～⑥の順

## 諏訪第一球場

遠投

1. 5年生 ①～⑫の順
2. 3年生 ①～⑫の順
3. 1年生 ①～⑫の順

ベーラン

1. 3年生(一塁から本塁) ①～⑫の順
2. 1年生(三塁から本塁) ①～⑫の順
3. 5年生(本塁から1周) ①～⑫の順

15:30～ボールまわし

- 5年生の部 ①～⑫の順

16:00～キャッチボールクラシック ⑦～⑫の順

## 競技順

- ①オール上作野球部 ②丘の上トータス ③蟹ヶ谷クラブスターズ ④久地第三レッズ  
⑤坂戸第一ドジャース ⑥下作延第一ペッパーズ ⑦新作第二少年野球部  
⑧千年子ども会野球部 ⑨東高津野球部 ⑩久本ブルーエンジェルス  
⑪溝口第三サンダース ⑫高津ドリームス

## [遠投]

- ・1人2球限定やり直し無し
- ・一番遠い記録をとる(計測は0.1m単位)
- ・4コース(瀬田2コース、諏訪第一2コース) コースの幅は15mとし、コースアウトは記録しない。  
多摩川の下流に向かって投げられるようにし、距離計測用の5m間隔のラインを引く  
(準備用具) ラインカー／石灰／メジャー(担当チームで用意)／ボール各球場1ダースずつ

## [ベーラン]

- ・規定の塁間を走りタイムをとる。学童の塁間は23mとする。中等部の塁間は27.43mとする。(計測は0.01秒単位)
- ・1年生は三塁→本塁
- ・2年生は二塁→三塁→本塁
- ・3年生は一塁→二塁→三塁→本塁
- ・4年生以上は本塁→一塁→二塁→三塁→本塁
- ・ベースをしっかりと踏むこと、踏まないと無効  
(準備用具) ストップウォッチ(担当チームで用意)／ベース

### [ボールまわし]

- 各チームは、メンバー表(ナガセケンコーなどの市販のもので可)に出場4名の氏名、守備位置、背番号を記載し、14:30までに3部を本部に提出する。
- 学童の塁間は23mとする。中等部の塁間は27.43mとする。
- ボールまわしの順番 本塁→三塁→二塁→一塁→本塁→三塁→二塁→一塁→本塁
- 本番2回の良いタイムを記録とする。(計測は0.01秒単位)
- 捕球できなかった場合は、ボールを捕りにいって再開してもよい。その場合はボールを持って触塁して再開する。
- カバーにチームメンバーを配置してもよい。そらしたボールをカバーの人がキャッチして、投げてボールまわしの選手に返してもよい。その場合もボールまわしの選手がボールを持って触塁して再開する。
- ボールを後ろにそらして捕りにいけない場合は、記録なしとして競技終了とする。(準備用具) ストップウォッチ(担当チームで用意)ノベースノボール

### [キャッチボールクラシック]

- 各球場で2チームずつ行う。
- 本番2回の良い記録を取る。
- 1チーム9人が5人と4人に分かれ、7m離れて向き合う。
- 5人側の選手がボールを持ち、スタートの合図とともに向き合った相手にボールを投げる。
- 投げ終わった選手は自分の列の最後尾につく。ボールを捕った選手も、次に向かいあった相手にボールを投げたら、自分の列の最後尾につく。これを時間内に繰り返す。
- 投げたボールをキャッチしたのを1回と数える。終了時に空中にあるボールはノーカウント。
- 投げる時にラインをはみだすのはOKだが、補給時にラインより前に出た場合(空中であっても足がラインに掛かっている場合)はカウントしない。
- ボールを後ろにそらしてしまった場合は、後ろに並んでいる人が捕りに行ってもOK。ただし次の投球は最前列の人から再開する。ボールを前に落とした場合は、前に捕りに行って、ラインの後ろまで戻った時点で回数をカウントする。もしそのままラインの前から投げた場合は、回数はカウントしない。
- 制限時間は2分間。その時点で空中にあるボールはカウントしない。キャッチボールが成立した回数をチームの記録とする(準備用具) ストップウォッチ(担当チームで用意)ノラインカーノ球数カウンターノボール

### 競技担当

- 各チーム3名以上 準備ノ審判ノ指導ノ記録ノ集計ノ選手の整列ノ誘導などの担当スタッフを出して協力願います。
- 瀬田球場担当 ベーラン: ☆丘の上トータス、蟹ヶ谷クラブスターズ、久地第三レズ  
遠投: ☆坂戸第一ジャース、下作延第一ベッパーズ、新作第二少年野球部  
ボールまわし: ☆蟹ヶ谷クラブスターズ、久地第三、丘の上トータス  
キャッチボールクラシック: ☆下作延第一ベッパーズ、新作第二少年野球部、坂戸第一ジャース
- 諏訪第一球場担当 ベーラン: ☆千年子ども会野球部、東高津野球部、久本ブルーエンジェルス  
遠投: ☆溝口第三サンダース、高津ドリームス、オール上作野球部  
ボールまわし: ☆東高津野球部、久本ブルーエンジェルス、千年子ども会野球部  
キャッチボールクラシック: ☆オール上作野球部、高津ドリームス、溝口第三サンダース
- 上記に従い、各球場担当チームが、会場の準備ノ審判ノ指導ノ記録ノ集計ノ選手の整列ノ誘導などを担当ください。
- 会場の準備: ライン引きやベースの配置
- 審判: ベーラン: フライングや触塁の確認、遠投: 投球時のライン確認やコースアウト判定
- 指導: 各競技方法を選手へ説明
- 記録: 各競技のタイム計測ならびに記録
- 集計: 各学年の競技の上位3位を集計用紙に記載 ※集計用紙は連盟で準備
- 選手の整列ノ誘導: 競技順番に従い、選手の誘導や整列を行う。
- 記録用紙や集計用紙は連盟で準備します。筆記用具は各担当で持参ください。
- ☆印のチームは、各球場ノ各競技の責任担当チームとして、取りまとめをお願いします。